

東部総合公園  
防災施設整備計画

令和8年3月  
宇都宮市

**(1) 防災上の位置づけ**

本計画は、関連計画を踏まえ、東部総合公園の防災上の役割、運営方法を明確にし、災害時における一時避難場所としての機能を十分に発揮させることを目的としている。

関連計画名	計画内での位置づけ
宇都宮市地域防災計画	一時避難場所として位置づけられている。
第2次宇都宮市国土強靱化地域計画	都市・インフラ（市街地整備）における「防災機能を有する公園・緑地等の整備推進事業」及び都市・インフラ（都市機能の維持・誘導）における「立地適正化計画等に基づく居住や都市機能の適正な維持・誘導の推進事業」に位置付けられている。

**(2) 東部総合公園の概要****ア 名称**

東部総合公園

**イ 所在地**

宇都宮市下平出町2945番地1他

**ウ 公園規模**

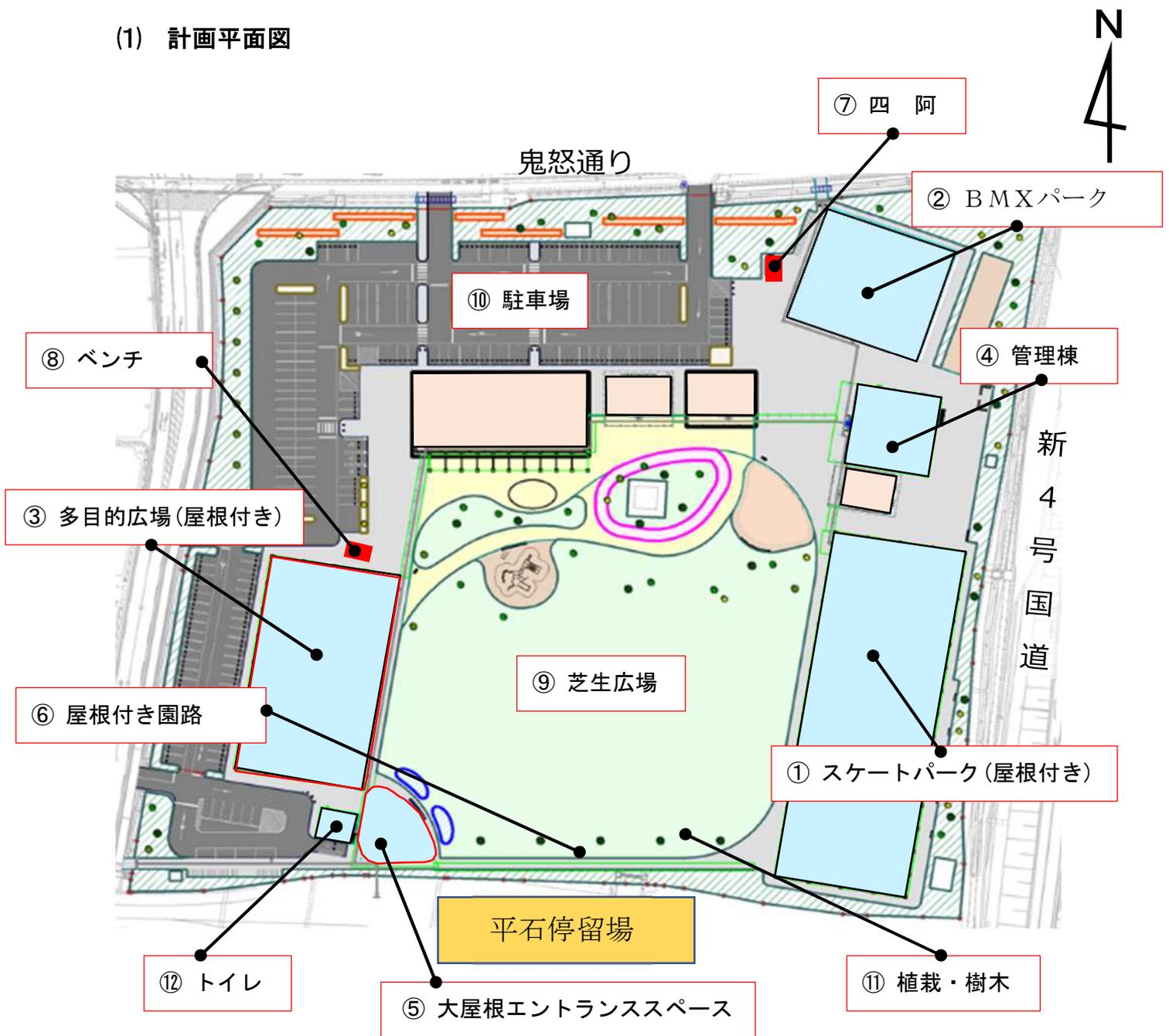
36,069.30㎡

**エ 主要施設構成**

- ・ スケートパーク（屋根付き）
- ・ BMXパーク
- ・ 多目的広場（屋根付き）
- ・ 管理棟
- ・ 大屋根エントランススペース
- ・ 屋根付き園路
- ・ 芝生広場
- ・ 遊具
- ・ 駐車場
- ・ 四阿
- ・ ベンチ など

## 2 施設計画

### (1) 計画平面図



## (2) 災害時の機能・役割

各施設の災害時の機能・役割は以下の通りです。

No.	具体の整備内容	災害時における機能・役割
1	スケートパーク (屋根付き)	避難スペースや支援物資の集積場所等として利用
2	BMXパーク	一時的な支援物資の集積場所等として利用
3	多目的広場 (屋根付き)	避難スペースや支援物資の集積場所等として利用
4	管理棟	公園全体の運用・管理・諸活動等として利用
5	大屋根エントランス スペース	避難スペースや支援物資の配布場所等として利用
6	屋根付き園路	避難や諸活動の動線として利用
7	四阿	様々な活動拠点として利用 (詳細は次頁)
8	ベンチ	炊き出し用かまどとして利用 (詳細は次頁)
9	芝生広場	一時的な避難スペースとして利用
10	駐車場 (約120台)	避難者の駐車スペース等として利用
11	植栽・樹木	避難等における風害対策として活用
12	トイレ (マンホールトイレ含む)	避難者のトイレとして利用 (非常時使用可能)
13	雨水貯留槽	雨水排水システムとして利用
14	浄化槽	汚水排水システムとして利用

### (3) 具体的な活用事例

#### ア 四阿

本施設については、災害時に軒下にテントシートを吊るして簡易なテントに活用できるものとし、更衣室や臨時医務室など、様々な活動拠点として活用します。テントシート等の付属品は、近接する管理棟の倉庫に収納し、すぐに準備できるようにします。

#### ◆ 活用事例



## イ かまどベンチ

本施設については、座板を取り外し、炊き出し用かまどとして活用します。

### ◆ 活用事例



### 3 運営方法

#### ●マニュアル作成と訓練等による防災対策の徹底

- ・ 危機管理，防災等のマニュアルを作成し，災害及び事故等の不測の事態の発生に対応できるよう必要かつ十分な資機材等の用意を行います。
- ・ 災害時には，防災設備として，災害用トイレ，かまどベンチ，蓄電池を整備し，衛生対策も含めた対応を行うとともに，特定公園施設のシャワー室や休憩室等を開放し，災害時の避難場所として活用する体制を構築します。
- ・ また，防災に対する危機管理意識を高めるため，防災イベントや防災訓練を年1回以上実施するなど，施設だけでなく地域住民の防災知識を高め，地域の防災力向上に寄与します。